

地域発  
公明党

# さわやか No.56 ニュース

県会・市会  
鶴見政調会

※発行責任者※  
鈴木 ひでし  
まきしま 秀昭

## 「鶴見の明日」を考える

## 3年・5年後を見据えて 植田孝一 新鶴見区長に要望書



植田新区長に要望書を手渡す鈴木県議・まきしま市議(4月11日区役所で)

鈴木ひでし県議員とまきしま秀昭市会議員は、この4月に新たに着任した植田孝一鶴見区長、津田祐孝副区長に4月11日、要望書を手渡した。

① 行政財産の有効活用について

- \* 鶴見会館の今後の活用問題
- \* さざんか学園跡の有効利用
- \* 旧鶴見高等職業技術校の跡地取得と有効利用

② 街の安全対策について

- \* JR鶴見駅ホームの拡幅
- \* 元宮跨線橋にエレベーター設置
- \* 総持寺跨線橋にエレベーター設置
- \* 矢向駅のバリアフリー化
- \* 小学校のスクールゾーン安全対策
- \* 新型インフルエンザ対策

③ 住みよい暮らし・安心の子育て

- \* 保育園待機児童ゼロを目指す
- \* 二つ池の公園化に地域の声を
- \* 鶴見区の緑被率14%を15%に  
など15項目です。

行政財産の有効活用については、今から手を打つ必要性を強く訴えました。また新型インフルエンザ対策については、市との連携・医療機関との連携を加える事を要望。「待機児童ゼロ問題」については、最優先課題であることを訴えました。

県会



鶴見から始める街づくり  
鈴木ひでし

市会



安心して子育ての出来る街・つるみ  
まきしま秀昭